

2020年度「政策検討会」を開催しました！

10月15日（木）、Zoomを活用したオンラインセミナーとして2020年度政策検討会を開催し、5会員生協 66名が参加しました。

政策検討会は次年度の計画を考えるうえで、必要と思われるテーマを検討し、毎年、10月から12月に開催してきました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、Zoomを活用したオンラインセミナーとして開催いたしました。



当日のプログラム

10：00～開会およびあいさつ

10：05～講演

『生協の新しいミッションをデザインする～シェアリングエコノミーの視点から～』

11：35～休憩

11：45～会員生協からの報告

12：25～萩原先生よりアドバイス

12：30 閉会あいさつ

開会あいさつ

千葉県生協連 首藤会長理事

新型コロナウイルス禍の中で安心して暮らし続けられる地域社会をつくっていくことは、私たち生活協同組合の大切な使命であり、そのためにはこれまでの取り組みを継承しながら、また新たな視点が必要だと思います。安心してくらす地域社会づくりに向けて自分たちが主体的に関われることを考えるきっかけになれば幸いです。

講演『生協の新しいミッションをデザインする～シェアリングエコノミーの視点から～』

講師 立教大学社会学部/大学院 21世紀社会デザイン研究科教授 萩原なつ子氏

SDGs目標達成に向けて自分（達）は何ができるのかを考える場としてご講演いただきました。自分（自分の生協）の強みを再確認して安心して暮らせる地域社会づくりに向けて主体的に関われることをシェアリングエコノミービジネスの視点からお話ししてもらいました。シェアリングエコノミーとは目新しいことではなく日本でも以前からお下がりや送迎、醤油の貸し借りなどをおこなわれてきたことで、これからの人口減少社会では人やモノなどあらゆる資源を最大限に活用することが重要であり、人と人を結び付け新たな共助の仕組みを生み出すと考えられています。

このシェアリングエコノミーに組合員との信頼関係を大切にしている生協が関わることによってより前進するのではないかとアドバイスをいただきグループに分かれて生協の強みや得意なことを話し合いました。



会員生協事例報告

- ・生活協同組合パルシステム千葉 理事長 佐々木 博子さん
- ・生活協同組合コープみらい 組合員理事 林 幸子さん
- ・生活クラブ生活協同組合 理事長 福住 洋美さん
- ・なのはな生活協同組合 理事 山本 靖子さん
- ・萩原先生より

各生協さんが持っている得意につなげたSDGsの取り組み報告だったと思います。その中で共通しているキーワードは「笑顔」「次世代への意識」でした。食べることで社会貢献ができることをさりげなくみんなができるように意識している取り組みだと感じました。SDGsの目標達成を目指すためには生協の役割はとても大きく、本日お話ししたシェアリングエコノミーもすでにやってきていることだと思うので自信をもって広げてもらいたいと思います。素晴らしい活動をさらに活発にできることを期待します。

閉会あいさつ

コロナ禍の中で生活様式はこれからも変化し、くらしの課題も複雑になると考えます。そのような中、たすけあいながら支え合う地域づくりを重要な課題として会員生協の皆様と生協らしく取り組んでいきたいと思ひます。



参加者アンケートより

(1) 今回の満足度

大変満足したが60.0%、まあまあ満足したが33.3%で合わせて93.3%でした

(2) 特徴的な意見・感想（一部抜粋）

- ・シェアリングエコノミーの活用可能な資産についてこれからの活動、事業、地域の課題解決についての気づきになりました。今回、ブレイクアウトルームの時間が短かったですが、30分くらいじっくりと意見交換出来たらいいと思ひます。
- ・各生協のSDGsに向けた取組みを聞き、こうなりたい、こうしたいの目標はやっぱり一緒だなと感じました。

(3) 自分の生協の強みや得意、シェアできそうなモノ、コト

- ・お話のなかで、生協が地域の行政・社会福祉協議会と連携して”食育ラボ”を企画し提案できないか、と意見がありました。例えば、妊婦さん向けの栄養・調理実習や、乳児の離乳食講座など、生協の安心な食材を提供して調理実習を実施するなどの試みを、行政と連携して行うことができれば大変有効だと思ひます。
- ・社会にアンテナを張った多彩な組合員、いっしょに活動している仲間、生産者とのつながり。



全体の様子